

みなさんは美術館や画廊などの展覧会に出かけようとするとき、何から情報を得られていますか？この愛知県美術館のブログをご覧になっているみなさんはもちろんインターネットによる情報入手をされていることと思いますが、一度にたくさんの情報を見ようとするとなんて時間がかかってしまいますよね。

その点、アナログ的な紙媒体の情報は、一目でたくさんの情報を見比べるように得られる良さがあります。

東海三県（愛知、岐阜、三重）の主な美術館や画廊の情報をぎゅっと詰め込んだ便利な情報紙があるのをご存知でしょうか？それは『ナゴヤアートニュース』です。



23の美術館施設と画廊68軒（内22軒は画像入り）で、他にも美術系大学やデパートなどの展示情報、そしてそれぞれのアクセスに便利なマップも組み込まれています。

このナゴヤアートニュースは二ヶ月に一度、年6回の発行で、美術館や画廊に行くと無料で手に入れることができます。最新号の8、9月号で114号となります。これだけ内容の濃い紙面を無料で提供できているのは、掲載している美術館と画廊が手を携えて、それぞれ経費分担をしているからです。

ナゴヤアートニュースの最初は市内の6軒ほどの画廊が集って「Nafa=なごやアートフレンドリー・アソシエーション」という横の繋がりを持ち、そこが発行していた簡単な四つ折りのパンフレットに、愛知県美術館と名古屋市美術館が展覧会情報を載せるところからスタートしたものです。Nafaと両美術館が中心になって東海地方の美術館に声をかけて拡大していったのです。これは、一般の美術誌のように広告や購読料を取って作っているのではなく、掲載している美術館や画廊が使用紙面に応じて負担をして作り上げている情報紙で、誌面構成を変えると負担が大幅に増えてしまうから現在の形が精一杯といえるでしょう。今の時代、広報予算を少しでも削らなければならない美術館や画廊にとっては負担の増えることは難しいのです。ある美術館では広報予算の内、ほかを削ってもこのナゴヤアートニュースの予算だけは確保しているというところもあるくらいです。

それだけ、このナゴヤアートニュースが東海地方の美術ファンにとってとても便利で有効な情報入手ツールとなっているということです。発行の時期になるとまだ出ないかと問い合わせもありますし、すぐに美術館などに行けない人は郵送費を払って入手している人もいます。美術館や画廊で是非手にとってください。



実は毎号の内容はインターネットでも見られるようになっているんですよ。<http://www.artnews.jp/>にアクセスしてみてください。

なお、114号と115号は「あいちトリエンナーレ2010」の開催の関係から、愛知県美術館と名古屋市美術館としての紙面はお休みして、トリエンナーレの情報が掲載されます。(ST)



愛知県美術館「カンディンスキーと青騎士」展と名古屋市美術館「ゴッホ展」が夢のコラボ！

2010年08月05日



▲ 名古屋市美術館「ゴッホ展」&愛知県美術館「カンディンスキーと青騎士」展 期間限定セット券 (見本)

【上の作品】 フィンセント・ファン・ゴッホ 《アルルの寝室》 1888年

ファン・ゴッホ美術館（フィンセント・ファン・ゴッホ財団）（c）Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

【下の作品】 ヴァシリー・カンディンスキー 《オリエント風》 1909年

レンバツハハウス美術館

Städtische Galerie im Lenbachhaus und Kunstbau München

来年2月、愛知県美術館は「レンバツハハウス美術館所蔵 カンディンスキーと青騎士」展（2011年2月15日〔火〕-4月17日〔日〕）を、名古屋市美術館は「没後120年 ゴッホ展」（2011年2月22日〔火〕-4月10日〔日〕）を開催します。そこで今回、初めての試みとして、両展のセット券を発売することになりました！

セット券の価格は2,000円。これで、名古屋市美術館「ゴッホ展」に一般1名様、愛知県美術館「カンディンスキーと青騎士」展に一般1名様をご入場いただけます。「ゴッホ展」一般当日券が1,500円、「カンディンスキーと青騎士」展一般当日券が1,200円で、合計すると2,700円ですから、この2,000円のセット券は700円もお得です！

ちなみに、カンディンスキー（1866-1944年）はどのような芸術家か、ご存知の方も多いでしょう。モンドリアン、マレーヴィチと並び称される、抽象絵画の偉大な開拓者です。「青騎士」は、そのカンディンスキーをリーダーに、1911年にミュンヘンで結成された芸術家グループです。フランツ・マルク、ガブリエーレ・ムンターなどを主要メンバーとして、ドイツ表現主義の中核となる注目すべき活動を展開しました。愛知県美術館の「カンディンスキーと青騎士」展では、世界随一の青騎士コレクションを誇るレンバツハハウス美術館（ミュンヘン）の所蔵品の中から厳選された油彩画約60点（うち、カンディンスキー約30点）によって、第一次世界大戦前のミュンヘンで花開いたカンディンスキーと青騎士の芸術の精華をお見せします。

セット券販売期間は2010年8月8日（日）-9月30日（木）です。数に限りがありますので、購入はどうぞお早めに！（T0）

〈名古屋市美術館「ゴッホ展」&愛知県美術館「カンディンスキーと青騎士」展 期間限定セット券 販売場所〉

●愛知芸術文化センター

- ・地下2階 プレイガイド（日本プレイガイド）
- ・10階 愛知県美術館チケット売場（※この売場のみ、販売期間は2010年8月21日〔土〕-9月30日〔木〕となります。）

●名古屋市美術館

●その他

- ・栄プレチケ92
- ・中日サービスセンター
- ・日本プレイガイド
- ・オアシス21 iセンター
- ・ヤマハミュージック東海名古屋店プレイガイド
- ・CBC ラヴァースショップ
- ・今池ガスビルプレイガイド
- ・ユニモールプレイガイド
- ・中日文化センター
- ・中日新聞販売店